

1 公益社団法人 五所川原青年会議所

2 2026 年度 委員会基本方針・事業計画

3  
4 会員拡大交流委員会

5 委員長 飛鳥 瑞姫

6  
7 基本方針

8 青年会議所は 20 歳から 40 歳までの地域の核となる青年経済人により構成され、様々なアイデアを生  
9 み出しながら地域活性化に努めてまいりました。近年の若者の地元離れによる人口減少に伴い、当会の  
10 会員も減少しています。また、在籍年数の低下や会員の減少は組織の弱体化につながり、我々の住み暮  
11 らす「故郷」の明るい未来のためには、次世代の力が必要不可欠であり、この先も更に明るく活発な「故  
12 郷」にしていくために、会員拡大に力を入れていかなければなりません。

13 そのために、「異業種交流会」を開催し、入会候補者に青年会議所運動を理解して頂く機会を増やしま  
14 す。活発に SNS の発信力を駆使し、当会に興味を持つきっかけ作りを行います。そして、会員全員が一  
15 丸となって拡大活動を意識できるよう共有し、推し進めてまいります。更に、当会の先輩方にも会員拡  
16 大運動にお力添えいただき、「OB 交流会」を開催することで、五所川原青年会議所にとって価値のある  
17 事業を行います。

18 会員拡大の必要性を会員全員が理解することで、五所川原青年会議所の組織強化に繋がり、この持続  
19 的拡大交流運動こそが、地域を牽引する青年会議所としての存在意義をより確固たるものにする信じ、  
20 一年間精進してまいります。

28 事業計画並びに事業予算

29 ※ 例会の主管

30 ◎ 定例会 (4月) 他1

31 「異業種交流会(仮称)」

32 会員拡大する事業。

33

34 ・通信運搬費 10,000円 ・消耗品費 40,000円

35 ・印刷製本費 5,000円 ・賃借料 50,000円

36 ・委託費 10,000円

37

38 予 算 115,000円

39

40 ※ その他の事業

41 ◎ 「卒業式並びに大望年会(仮称)」(12月) 他1

42 会員相互の絆を深め、卒業生のこれまでの功績を称える事業。

43

44 ・通信運搬費 5,000円 ・雑費 90,000円

45 ・印刷製本費 5,000円

46 ・委託費 30,000円

47

48 予 算 130,000円

49

50 ◎ 「OB交流会」(5月)他1

51 OBの経験や知見を共有してもらい、現役メンバーの成長に繋げる事業。

52

53 予 算 0円

54

55 ◎ 「家族交流会」(10月)他1

56 会員とその家族との交流を深め、家族への感謝を伝える事業。

57

58 予 算 0円

59

◎ 「会員拡大」(通年)他2

60 会員拡大に関する知見を深め、情報収集及び会員への拡大運動を促進する報告。

61

62 予 算 0円

63

64

65 事業費合計 245,000円

1 公益社団法人 五所川原青年会議所

2 2026 年度 委員会基本方針・事業計画

3  
4 総務委員会

5 委員長 宮本 龍聖

6 基本方針

7 認承から 62 年、先輩諸氏が長きに渡り「明るい豊かな社会」の実現を目指し、地域をより良くするた  
8 めの青年会議所運動に尽力されてきました。その誠実な姿勢が内外から期待と信頼を寄せられる今日の  
9 当会を築き上げました。私たちはその誇りと責任を胸に内部連携の促進と秩序の維持に努め、その上で  
10 地域からの期待に応え、更なる信頼を頂くことができるように規律正しく品格ある組織運営に取り組み  
11 なくてはなりません。

12 総務委員会は執行部や各委員会と連携を図り、その要求に主体性を持って対応することでスムーズな  
13 組織運営を実現し、会員一人ひとりが安心して運動に専念できるように状況に応じて規律やマナーにつ  
14 いて共通理解を促します。「新年祝賀会」や「総会」、「LOM 内褒賞」に向けて適切な準備を進める過程で  
15 会員相互の理解を促進し、「役員選考委員会委員選挙」では規律のもと、信任ある選挙の運営に努めま  
16 す。さらに、それらの円滑な進行により青年会議所としての自覚と認識を深めてまいります。

17 総務委員会は会員一人ひとりが規律の中で互いを尊重し合い、連携を深め、一体感をもって「明るい  
18 豊かな社会」の実現に向けて青年会議所運動に取り組めるように秩序と信頼に満ちた組織運営に邁進し  
19 てまいります。

28 事業計画並びに事業予算

29 ※ 例会の主管

30 ◎ 定例会 (1月) 他1

31 「公益社団法人五所川原青年会議所 2026 年度新年祝賀会」

32 関係団体に日頃の感謝を伝え、当会の運動に対してご理解をいただく定例会。

33	・通信運搬費	60,000 円	・消耗品費	5,000 円
34	・印刷製本費	15,000 円	・賃借料	780,000 円
35	・委託費	130,000 円		

36 予 算 990,000 円

37 ◎ 定例会 (2月) 管理費に計上

38 「通常総会」

39 2025 年度の事業報告並びに収支決算報告承認をいただく事を目的とした総会。

40	・通信運搬費	5,000 円	・消耗品費	5,000 円
41	・印刷製本費	4,000 円	・賃借料	10,000 円
42	・委託費	6,000 円		

43 予 算 30,000 円

44 ◎ 定例会 (7月) 他1

45 「役員選考委員会委員選挙」

46 役員選考委員会委員を選出する事を目的とした定例会。

47	・通信運搬費	6,000 円	・消耗品費	5,000 円
48	・印刷製本費	5,000 円	・賃借料	15,000 円
49	・委託費	6,000 円		

50 予 算 37,000 円

51 ◎ 定例会 (9月) 管理費に計上

52 「通常総会」

53 次年度役員候補者並びに組織図案の承認、監事選出を目的とした総会

54	・通信運搬費	5,000 円	・消耗品費	5,000 円
55	・印刷製本費	4,000 円	・賃借料	10,000 円
56	・委託費	6,000 円		

57 予 算 30,000 円

58 ◎ 定例会 (12月) 他1

59 「次年度説明会並びに LOM 内褒賞」

60 今年度の活動内容の報告をし、次年度へと引き継ぐ。また、2026 年度の青年会議所運動に貢献・  
61 功労したメンバー及び委員会への褒賞を行う事を目的とした定例会。

62	・通信運搬費	6,000 円	・消耗品費	4,000 円
63	・印刷製本費	5,000 円	・賃借料	20,000 円
64	・委託費	20,000 円	・雑費	62,000 円

65 予 算 117,000 円

66 事業費合計 1,204,000 円

68

1 公益社団法人 五所川原青年会議所

2 2026 年度 委員会基本方針・事業計画

3  
4 まちづくり委員会

5  
6 委員長 今 孝夫

7 基本方針

8 社会構造の変化や価値観の多様化が進む中、対面でのつながりの希薄化や、地域における育ちの場・  
9 機会の減少は深刻です。その結果、私たちが住む津軽地域においても、特に若年層のまちづくりへの意  
10 識低下が喫緊の課題となっています。地域環境を改善し、将来にわたり持続可能な街を実現するため  
11 は、市民一人ひとりが郷土愛を育み、当事者意識を持って、未来の担い手とともに強固な「地域のつな  
12 がり」を再構築することが不可欠です。

13 そこで当委員会は、異なる二つの事業を通じて、地域住民が相互のつながりを大切にし、助け合うき  
14 っかけを創出することを目指します。一つは、津軽地域の伝統を体験し郷土愛を育む「親子 de 立佞武  
15 多」「親子 de 囃子」の開催。もう一つは、相互扶助の意識向上と交流促進を目的とした事業の実施です。  
16 これらの活動を通じて、地域住民の郷土への関心と誇りを高め、助け合える強固な「地域のつながり」  
17 の構築を目指した、地域における育ちの場を設えます。

18 私たちは、地域に暮らす人々が相互扶助の精神と、未来を創る当事者意識を醸成することで、誰もが  
19 安心して笑顔で暮らせる街を築き、その先に「明るい豊かな社会」を実現できると確信しています。こ  
20 の信念に基づき、一年間の活動に邁進してまいります。

28 事業計画並びに事業予算

29 ※ 例会の主管

30 ◎ 10月定例会 (10月) 公3

31 「防災・交流事業(仮称)」

32 相互扶助の意識向上と交流促進を目的とした定例会。

33

34 ・通信運搬費 70,000円 ・消耗品費 10,000円

35 ・印刷製本費 50,000円 ・賃借料 90,000円

36 ・委託費 50,000円 ・雑費 30,000円

37

38 予算 300,000円

39

40 ※ その他の事業

41 ◎ 「親子de立佞武多2026(仮称)」(8月) 公3

42 子ども、子育て世代に立佞武多に参加してもらい郷土愛を育んでもらう事業。

43

44 ・通信運搬費 10,000円 ・消耗品費 40,000円

45 ・印刷製本費 20,000円 ・雑費 30,000円

46 ・委託費 700,000円

47 ※本事業は五所川原市の補助金で運営するとして当会からの持ち出しは0円とする

48 予算 800,000円

49

50 ◎ 「親子de囃子2026(仮称)」(8月) 公3

51 子ども、子育て世代に囃子を通して立佞武多に参加してもらい郷土愛を育んでもらう事業。

52

53 ・通信運搬費 5,000円 ・消耗品費 10,000円

54 ・印刷製本費 20,000円 ・雑費 5,000円

55 ・委託費 60,000円

56 ※本事業は五所川原市の補助金で運営するとして当会からの持ち出しは0円とする

57 予算 100,000円

58

59

60 事業費合計 1,200,000円

61

62

1 公益社団法人 五所川原青年会議所

2 2026 年度 委員会基本方針・事業計画

3  
4 青少年委員会

5 委員長 清野 晋太郎

6 基本方針

7 現代の子どもたちは情報と利便性に恵まれる反面、間接的な交流の増加に伴い直接的な交流の機会が  
8 減っています。その結果、自ら行動し、言葉を交わし、心を通わせる「リアルな体験」が激減し、困難  
9 への耐性や人間関係を構築する力が低下しています。このような課題を乗り越える為に、地域社会の力  
10 を活用し、人間的な触れ合いの機会を意識的に提供することで「リアルな体験と知識の重要性」を改め  
11 て深く見つめ直す必要があります。

12 この重要性を柱とし、当委員会は「実体験を通じた人間力育成」を事業の最重要テーマとして推進い  
13 たします。自然や社会における課題解決、異世代との交流など多様な活動を通じ、生きた知恵と協調性、  
14 そして自立心を養います。さらに、事業を行う上で、安全管理と倫理観に基づき、青少年の主体的な成  
15 長を促す良き導き手としての役割を徹底します。会員は、この活動を通じた自己研鑽と共創の精神をも  
16 って、自身の成長へと繋げます。

17 この活動を通じて育まれた青少年の「未来を切り拓く力」は、彼らの人生にかけがえのない「自信と  
18 誇り」をもたらすとともに、やがて地域社会へと還元され、未来を創造する確かな基盤となります。皆  
19 様の理解と協力のもと、青少年の限りない可能性を信じ、一年間尽力してまいります。

28 事業計画並びに事業予算

29 ※ 例会の主管

30 ◎ 「会員登山研修～山へ挑む前の一步～」(仮称)他2

31 対内に向け「実体験を通じた人間力育成」事業

32

33 ・通信運搬費 5,000円 ・消耗品費 5,000円

34 ・印刷製本費 5,000円 ・賃借料 10,000円

35 ・委託費 50,000円

36

37

予 算 75,000円

38

39 ◎ 「じょっぱりマウンテン2026」(仮称)(8月)公1

40 自立心を養う「青少年の健全な育成」事業

41

42 ・旅費交通費 200,000円 ・通信運搬費 10,000円

43 ・消耗品費 50,000円 ・印刷製本費 20,000円

44 ・燃料費 10,000円 ・賃借料 20,000円

45 ・保険費 160,000円 ・諸謝金 10,000円

46 ・委託費 400,000円 ・雑費 20,000円

47

48

49

予 算 900,000円

50

51

事業費合計 975,000円

52

53

54

1 公益社団法人 五所川原青年会議所

2 2026 年度 委員会基本方針・事業計画

3  
4 まつり委員会

5 副理事長 大澤 慎司

6 基本方針

7 地域の幸せを願い、毎年開催されてきた「奥津軽虫と火まつり」も本年で第 54 回を数えることとな  
8 りました。ここまでまつりの燈火を絶やすことなく続けてこられたのは、関係団体の皆様や先輩諸氏、  
9 地域の皆様のご支援とご協力、そして何よりも愛されてきたからこそであります。昨今の物価高騰、伝  
10 統芸能の担い手不足、運行団体の減少など、様々な問題を抱えながらも、我々が先人の想いを受け継ぎ  
11 歴史あるまつりを次代へと継承していかなければなりません。

12 そのために、関係団体の皆様、地域の皆様にこれまで以上のご理解とご協力を賜りながら、時代に即  
13 した新たなまつりの形を模索してまいります。これまで紡がれてきたこのまつりを、今後も持続可能な  
14 ものにしていくためにも、次世代への継承をはじめ、地域の皆様に改めて伝統芸能への理解をより深め  
15 ていただき、更には関係団体の活性化を目指し、より進化させて「第 54 回奥津軽虫と火まつり」を本  
16 年度も開催してまいります。

17 この「奥津軽虫と火まつり」が、地域の皆様の誇りとして生涯語り継がれていけるように、またこの  
18 燈火を絶やすことなく次代へとつないでいく事が郷土愛へとつながっていくと信じ、1 年間邁進してま  
19 います。

20 委員長 木村 重太

21 基本方針

22 「奥津軽虫と火まつり」は長きにわたり地域に愛され、根付いて来たことで本年で 54 回目の開催と  
23 なりました。しかし、伝統芸能の担い手不足、運行団体の減少など時代の変化に伴い先人の想いを後世  
24 に伝えることが年々難しくなっております。その中で「奥津軽虫と火まつり」の存在意義や魅力を  
25 地域の次世代を担う子ども達に知ってもらい、参加する働きかけを行う事が重要だと考え、今一度時代  
26 に即した在り方を再考しなければなりません。

27 そのためにまつりのすそ野を広げる事が非常に重要となってきます。若い世代に「奥津軽虫と火まつ  
28 り」とは何かを学んでもらい、多くの人にまつりの存在意義と魅力を親善大使として伝えてもらうこと  
29 で、時代に合った考えに即しながら先人の想いも後世に伝えていく働きかけを行います。また、まつ  
30 りを継承していく中でまずは語り手となる人が参加したいと思えるような 11 月定例会を行い、より「奥  
31 津軽虫と火まつり」を地域に根付いたものにしていきたいと考えます。

32 先人が継承してきたこの「奥津軽虫と火まつり」の燈火を時代に合った形で次世代に引き継がれる事  
33 をめざし、まつりを通じ地域の交流、郷土愛の醸成と継承をこの 1 年間で体現して運動を展開してま  
34 います。

35 事業計画並びに事業予算

36 ※ 例会の主管

37 ◎ 定例会 (6月) 公2

38 「第54回奥津軽虫と火まつり」

39 五所川原青年会議所が主体となり、地域の皆様や関係団体と共に地域の弥栄を願う定例会。

40

41	・旅費交通費	30,000円	・通信運搬費	60,000円
42	・修繕費	30,000円	・消耗品費	1,000,000円
43	・印刷製本費	30,000円	・燃料費	50,000円
44	・賃借料	100,000円	・保険料	150,000円
45	・諸謝金	200,000円	・支払負担金	50,000円
46	・委託費	2,000,000円	・衛生費	200,000円
47	・雑費	200,000円		

48

49

予 算 4,100,000円

50 ◎ 「まつりの意義と目的を伝承する定例会(仮称)」(11月) 他3

51 時代に即した新たなる「奥津軽虫と火まつり」を次代へと受け継ぐ定例会。

52

53	・通信運搬費	5,000円	・消耗品費	5,000円
54	・印刷製本費	30,000円	・委託費	100,000円
55	・衛生費	20,000円		

56

57

予 算 160,000円

58

59 ※ その他の事業

60 ◎ 「奥津軽虫と火まつり親善大使事業」(3月~6月) 公2

61 高校生・大学生を主体とした「奥津軽虫と火まつり親善大使」が活動する事業。

62

63	・旅費交通費	20,000円	・通信運搬費	10,000円
64	・消耗品費	5,000円	・印刷製本費	15,000円
65	・賃借料	10,000円	・保険料	30,000円
66	・委託費	30,000円	・雑費	20,000円

67

68

予 算 140,000円

69

70

事業費合計 4,400,000円

71

72

1 公益社団法人 五所川原青年会議所

2 2026 年度 委員会基本方針・事業計画

3  
4 会員研修特別室

5 室長 赤石 悠

6 基本方針

7 青年会議所では、毎年組織や役割が変わり、常に新しいことに挑戦する機会が与えられています。し  
8 かし、日々の新しいことや事業に迫られるなかで、青年会議所運動について学ぶ時間は少ないのが現状  
9 です。限られた時間のなかで、私たちが地域を牽引する人財に成長するには、ただ事業をこなすだけで  
10 なく、JAYCEE としての使命を理解したうえで、自分自身が五所川原青年会議所で何を得て、どのように  
11 成長したいのかを意識しながら、積極的に自分を磨くことが必要であると考えます。

12 そこで、私たちはなぜ青年会議所運動を行うのかをメンバー自身が見つめ直し、当会がより良い成長  
13 の場となるよう、多様な研修の機会を提供してまいります。決まりきったことを学ぶのではなく、様々  
14 な環境や価値観の違いに触れる機会を設け、学校や会社では経験することのできない学びの場を創出す  
15 ることで、メンバーの資質向上に努めます。個人の成長が組織の成長へ、ひいては地域の発展につな  
16 がるよう、地域を牽引する人財の育成を図ります。

17 研修を通して仲間とともに学び、スキルアップを図ることで、日々の活動がより充実したものになる  
18 とともに、メンバー一人ひとりが卒業してからも成長し続け、地域により良いインパクトを与え続ける  
19 人財の育成につながるものと確信しています。

28 事業計画並びに事業予算

29 ※ 例会の主管

30 ◎ 定例会 (3月) 他2

31 「JC研修会 (仮称)」

32 青年会議所を通じた資質向上事業

33

34 ・通信運搬費 5,000円 ・消耗品費 2,000円

35 ・印刷製本費 1,000円 ・賃借料 10,000円

36 ・委託費 10,000円

37

38

予 算 28,000円

39

40 ※ その他の事業

41 ◎ 「JCセミナー (仮称)」(通年・全5回) 他2

42 青年会議所を理解しながら会員相互の交流を図る事業

43

44

予 算 0円

45

46

事業費合計 28,000円

47

48

49

# 公益社団法人 五所川原青年会議所 2026年度 年間スケジュール

	1月	2月	3月	4月	5月	6月
日本青年会議所	京都会議 総会 22日(木)～25日(日) 京都 24日(土)		総会 東京 28日(土)			
東北地区協議会	正副拡大会議 WEB 14日(木) 役員会議 花巻 28日(木) 会員会議所会議 京都 23日(金)	正副拡大会議 WEB 11日(木) 役員会議 仙台 25日(木)	正副拡大会議 花巻 11日(木) 役員会議 会津 25日(木)	正副拡大会議 能代 14日(火) 役員会議 寒河江 28日(火)	正副拡大会議 二本松 13日(木) 役員会議 鹿角 27日(木)	正副拡大会議 新庄 10日(木) 役員会議 青森 24日(木)
青森ブロック協議会	役員会議 WEB 8日(木)	役員会議 WEB 19日(木) 会員会議所会議 青森 7日(土) 並びに役員会議 三沢 28日(土) アカデミー開校式 青森 7日(土) 並びに第一講座 青森 7日(土) 新春名刺交換会 青森 7日(土)	役員会議 青森・WEB 12日(木) 会員会議所会議 並びに役員会議 黒石 21日(土)	役員会議 八戸・WEB 9日(木) 会員会議所会議 並びに役員会議 五所川原 25日(土)	役員会議 八戸・WEB 7日(木) 会員会議所会議 並びに役員会議 八戸 30日(土)	役員会議 八戸・WEB 18日(木)
理事会	7日(木)	5日(木)	4日(水)	6日(月)	7日(木)	4日(木)
会員拡大交流委員会				4月定例会		
総務委員会	新年祝賀会	通常総会				
まちづくり委員会						
青少年委員会					5月定例会	
まつり委員会				まつり親善大使事業		第54回 奥津軽虫と火まつり 6月20日(土)
会員研修特別室			3月定例会			

	7月	8月	9月	10月	11月	12月
日本青年会議所	JCI アカデミー 2日(木)～12日(日) サマーコンファレンス 18日(土)～19日(日)			総会 神戸 2日(金) 全国大会 神戸 1日(木)～4日(日) JCI 世界会議 クラーク 28日(木)～1日(日)		
東北地区協議会	正副拡大会議 横手 15日(木) 役員会議 奥州 28日(火)	正副拡大会議 三沢 11日(火)	正副拡大会議 仙台 16日(木) 役員会議 鶴岡 4日(金) 福島 25日(金) 東北青年フォーラム 鶴岡 5日(土)～6日(日)	正副拡大会議 一関 14日(木) 役員会議 クラーク 27日(火)	正副拡大会議 天童 11日(木)	役員会議 酒田 3日(木) 会員会議所会議 酒田 4日(金)
青森ブロック協議会	会員会議所会議 八戸 3日(金) 並びに役員会議 八戸 4日(土) 第三講座 八戸 4日(土) 7キモリサマー・シMIT in 八戸 4日(土)～5日(日)		役員会議 青森・WEB 10日(木)	役員会議 八戸・WEB 15日(木) 会員会議所会議 十和田 3日(土) 並びに役員会議 むつ 31日(土)	役員会議 青森・WEB 12日(木) 会員会議所会議 青森 28日(土) 並びに役員会議 青森 28日(土) ブロック卒業式 青森 28日(土)	
理事会	6日(月)	10日(月)	7日(月)	5日(月)	5日(木)	7日(月)
会員拡大交流委員会						卒業式及び大望年会
総務委員会	選考委員会委員選挙		通常総会			次年度事業説明会 及び LOM 内褒賞
まちづくり委員会		親子 de 立坂武多・親子 de 囃子 4日(火)～8日(土)		10月定例会		
青少年委員会						
まつり委員会					11月定例会	
会員研修特別室						